

新基地建設反対名護共同センターニュース

残3週間余 県民投票求め署名急ピッチ!



日本共産党沖縄県委員会は27日、那覇市新都心で辺野古新基地建設を問う県民投票求めて署名を呼びかけ、40分間宣伝しました。多くの市民が立ちどまり署名の机に列ができるほどで32筆集まりました。40代の男性は「辺野古に新基地を造るのは絶対に反対。しかし、仕事もあり現場には行けないけれど、署名することで思いを表せた」と語っていました。また、コールセンターに勤務している27歳の女性は「安倍政権の国政私物化や強引なやり方はおかしい」と怒ってサインしました。また、湧川那覇市議が約40軒の「しんぶん赤旗」読者に署名集めをお願いすると全員が快諾し、医療生協が24日の総代会で署名を取り組むことを確認しました。このように、7月23日まで残り3週間余に迫った署名期間で必ず新基地に対する意思を示そうと急ピッチで署名運動が広がっています。

「現場に行けないが署名で思いを表せた」
「安倍政権おかしい」と署名に列ができる

稲嶺進前名護市長迎え武蔵野市で「学習のつどい」



会場は満員盛況。「一目稲嶺さんに会いたい」と終了間際にかけつけた人もいました。



「沖縄の未来を語る」と題して講演する稲嶺進前名護市長

東京の「沖縄の歴史と文化を見つめる会」は23日、「本土復帰43年学習のつどい」を武蔵野市内で開催。稲嶺進前名護市長を迎えて90人を超える参加で成功しました。(通信・浅羽晴二氏)

稲嶺前市長は沖縄の歴史を振り返るとともに、現在でも米軍基地被害に県民が苦しんでいる現状を報告。「この実態を全国で共有しともに基地のない平和な沖縄と日本をめざしましょう」と訴えました。ある参加者は「辺野古新基地反対で先頭に立ってたたかっている稲嶺さんの話が聞けて良かった」と話していました。

DVD「美ら海 辺野古」N0.13 絶賛発売中!



中村司(まもる)氏

北上田毅氏



志位和夫委員長

翁長県政の継続で新基地阻止を!

「知事選勝利めざす学習会に最適だ!」の声

主な内容は●元航空気象予報官の中村司さんが「辺野古新基地は高さ制限問題や乱気流の危険性が高い地形」●土木技術師の北上田毅さんが「大浦湾の海底地盤の様々な問題点」を指摘●共産党志位委員長が「翁長県政の継続で辺野古新基地建設は阻止できる」と訴え●住民の声、他●映像22分。頒価500円(送料込)●自由に映写会で上映できます。

●お申し込みは—

新基地建設名護共同センターへ (本紙面最上覧参照)